

# DVD±R/RW/RAM

B-MANU200327-01  
M-MANU200209-01

# I.O DATA

## セットアップガイド DVR-UN16R

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づいて開発された製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づいて開発された製品です。本製品のUSB 2.0の動作は、専ら環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



### 動作環境の確認

対応機種*	USB 2.0*(USB 1.1*)ポートを搭載したDOS/Vパソコン(弊社製USBインターフェイスを搭載したパソコンを含む)
対応OS	Windows XP*4, 2000 Professional, Me*5
搭載CPU*6	●データ保存時:PentiumIII 450MHz以上 ●ビデオ編集・DVD鑑賞時:PentiumIII 800MHz以上 (リアルタイムレコーディングを行う場合は1.8GHz以上)
メモリ	256Mバイト以上(512Mバイト以上推奨)
ハードディスク*6	空き容量 10G/バイト以上(20G/バイト以上推奨)
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	CPRM技術で録画されたDVDディスクをUlead DVD Playerを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア*7	●DVD: DVD+R*8, *9, DVD+RW, DVD-R*9, *10, DVD-RW, DVD-RAM*11, DVD-ROM ●D: CD-R, CD-RW, CD-ROM

- \*1 対応機種は、対応機種情報を対応製品情報センター(IPO)にてご案内しております。  
<http://www.iodata.jp/ipo/>
- \*2 USB 2.0規格は、パソコン本体にUSB 2.0インターフェイス機能が必要です。本製品のUSB 2.0の動作は、専ら環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- \*3 USB 1.1規格で書き込み可能なメディアをお使いの場合は、DVDには書き込みの速度、CDには最大伝送となります。USB 1.1規格でDVDドライブを再生する場合は、十分な伝送速度が確保されないと再生が正常に行われず、再生が途中で止まることがあります。再生速度は、各インターフェイス製品メーカーのホームページにてご確認ください。
- \*4 (B's CLIP)をご利用になるには、Service Pack 1以降がインストールされた環境が必要です。
- \*5 以下の場合、Windows XP/2000 Professionalが必要です。●B's Recorder GOLD B Securityにて暗号化したDVDの動作を確保する。●DVD MovieWriterの「おまかせボタンス」機能を使う
- \*6 1層DVDメディアへの16倍速書き込みを行う際の推奨書き込み速度は以下のとおりです。●搭載CPU Pentium III 1GHz以上 ●ハードディスク Ultra ATA/60GB以上(推奨されたハードディスクのDMAモード)
- \*7 書き込みは12cmメディアのみ対応しております。●DVD+R/CD-Rの書き込みを行う場合は、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。
- \*8 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行う場合は、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- \*9 2層DVD+Rメディアに[B's CLIP]にて書き込みを行った場合は、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- \*10 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアクトランスのみ対応しております。
- \*11 対応機種以外の対応機種には対応していません。対応機種は、弊社ホームページにてご確認ください。
- \*12 推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質に劣り再生障害やデータ破損の原因となります。最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- \*13 B's Recorder GOLD B Securityにてコピー禁止機能付DVDを再生する場合は、書き込み機能は動作しない場合があります。再生機能は、弊社ホームページにてご確認ください。
- \*14 本製品は録画の速度をアップしてメディアの寿命を延ばす高速度の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの寿命を延ばす高速度の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーの各ドライブでのメディアの寿命を延ばす高速度の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

### 注意

- DVD+R/RW/RAMメディアで作成したDVD-ROM、DVDビデオ、録画したDVD-RAMドライブ、DVDのレーザー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない場合があります。
- 本製品の書き込み速度も、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

### 製品仕様

ドライブ名	ND-4550A(OEM供給元:日本電気株式会社)	平均アクセスタイム	●DVD-ROM:160ms ●DVD-RAM:300ms ●CD-ROM:140ms								
インターフェイス仕様	USB 2.0(USB 1.1)	書き込み方法	●DVD+R : Sequential write ●DVD+RW : Random write ●DVD-R/RW: Disc at Once, Incremental, Restricted Overwrite* ●DVD-RAM : Random write, Sequential write ●CD-R/RW : Disc at Once, Session at Once, Track at Once, Packet Writing ※DVD-RWのみ								
設置条件	設置方向:水平、垂直(垂直は12cmメディアのみ対応)	電源仕様	AC 100V±10%, 50/60Hz								
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング	定格電流	5V:1.5A, 12V:1.0A								
データバッファサイズ	2M/バイト	動作温度	+5~+35℃(パソコンの動作する温度範囲であること)								
書き込みエラー回避機能	搭載	動作湿度	20%~80%(結露なきこと)								
最大書き込み/読み込み速度	DVD	1層+R	2層+R	1層-R	2層-R	-RW	RAM	ROM	電源仕様	AC 100V±10%, 50/60Hz	
	書き込み	x16	x8	x8	x16	x6	x6	x5	-	定格電流	5V:1.5A, 12V:1.0A
最大書き込み/読み込み速度	C	D	-R	-RW	ROM	動作温度	+5~+35℃(パソコンの動作する温度範囲であること)				
	書き込み	x48	x32	-	-	動作湿度	20%~80%(結露なきこと)				
適合フォーマット	●DVD: DVD-ROM, DVD-Video ●C D: CD-ROM Mode1, CD-ROM XA Mode2 (form 1, form 2), CD-DA, CD-Extra, CD-I, Video CD, CD-TEXT, PhotoCD									外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm(突起部分を除く)
										質量	約1.6kg (ACアダプタを除く)

## 1.準備しよう

### 内容物を確認します

- ドライブ(1台)
- ACアダプタ(1個)
- USBケーブル(1本)
- 縦置きスタンド(1個)

- DVR±R/RW/RAMセットアップガイド(本書/1枚)
- DVD Proツールズコレクション(CD-ROM/1枚)
- Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
- ゴム足(8個)[縦置用:4個/横置用:4個]
- ハードウェア保証書(1枚)※

### 各部の名称

**ドライブ前面**

アクセス/Powerランプ

イジェクトボタン

※パネル

### ドライブ前面(トレイ開き)

**緊急イジェクトホール**

イジェクトボタン

注意

- アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になり、データが消失する恐れがあります。
- イジェクトボタンを押した際は、すぐ手を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

### シリアル番号(S/N)をメモします

↓ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:A0A0000000aa)  
シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

### ソフトウェアのダウンロード

<http://www.iodata.jp/lib/>

### ユーザー登録

<http://www.iodata.jp/regist/>

### ※ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されています。  
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

## 2.接続しよう

### ドライブをパソコンに接続します

※Windows XP/2000でセットアップを行う場合には、管理者権限でログインしてください。

#### 手順.1

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

#### 手順.2

添付のACアダプタを本製品と電源コンセントにつなぎます。

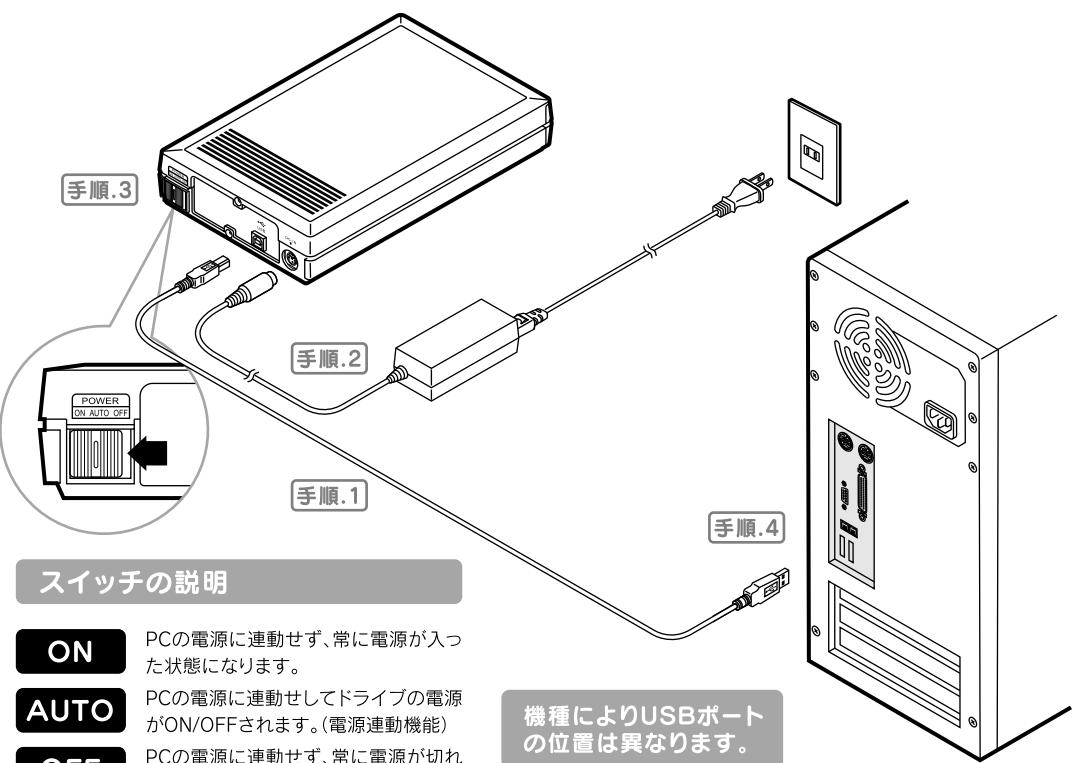
#### 手順.3

電源を入れます。

#### 手順.4

パソコンのUSBポートにつなぎます。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。



### 電源連動機能とは?

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源がAUTOの状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切る同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

**起動時**

パソコンをONにすればドライブもON!

**終了時**

ドライブの電源切り忘れなし!

### 縦置きにする場合

**手順.1**

縦置きスタンドのウラに添付のゴム足を4枚貼り付けます。

**手順.2**

イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

**手順.3**

イジェクトボタンが上になるように縦置にします。

### 横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

注意

- 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。
- 電源連動機能により、ドライブの電源スイッチをAUTOにした時点ではドライブのPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

## 3.確認しよう

### 正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。(画面例:Windows XP)

アイコンの確認

※(ドライブ番号(文字))は環境によって異なります。

Windows XP 以外の場合

左記のアイコンの追加を確認します。

Windows 2000/Meでお使いの場合

注意

DVD-RAMドライバのインストール後は、リムーバブルディスクアイコンが追加されます。DVD-RAMを使用するときは、このアイコンを使います。

### こんなときには?

#### アイコンが追加されていない場合

添付のCD-ROMに収録されている簡単ガイド(オンラインマニュアル)の「困ったときには」[Q-1]をご参照ください。

#### 「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

## 4.その他

### 取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例:Windows XP)

#### 手順.1

タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

#### 手順.2

本製品の表示をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。

#### 手順.3

メッセージを確認します。(Windows 2000, Meの場合は[OK]をクリックします。)

#### 手順.4

パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

AUTOの場合、自動的に電源が切れます。左記「電源連動機能とは?」をご参照ください。

### こんなときには?

#### 「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。 ※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

### その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品は、パソコンの省電力機能には対応していません。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

### 裏面へお進みください。➡



